

大学院博士前期課程

修士論文提出に関する日程（予定）

2017年度 修士論文提出日程	2017年 7月提出者	2018年 1月提出者
教育研究指導計画書の提出	4月8日（土）	
修士論文 構想発表会	5月27日（土）	
修士論文 中間発表会	- - -	11月11日（土）
論文題目届の提出	6月10日（土）	11月11日（土）
予備審査論文の提出	6月26日（月）	1月12日（金）
修士論文 予備審査	各専攻で実施	
「仮製本」論文提出（審査用）	8月14日（月）	2月5日（月）
最終試験（口頭試問）	※8月28日（月）	2月中旬
前期課程修了査定	※8月28日（月）	2月中旬
「本製本」論文提出（図書館保存用）	9月8日（金）	2月24日（土）
修了資格取得者発表	9月上旬	3月上旬
卒業式・学位授与式	9月20日（水）	3月24日（土）

※ 都合により日程変更の可能性が 있습니다。

文学研究科 修士論文審査基準

2007年度より下記の審査基準を用いて修士論文を審査する。(変更の可能性あり)

文学研究科修士論文審査基準

審査対象者：学籍番号 氏 名

論文題目：

項目別評価：

[評価基準 / a：適切 b：不適切 x：非該当項目]

1 章立て等論文の体裁は整っており、執筆要領(注・文献も含めて)に適合しているか

a b x

2 先行研究を的確に踏まえているか

a b x

3 研究目的は明確であるか

a b x

4 専攻や専門の理念との関連付けは明確であるか

a b x

5 研究目的に照らして研究方法は適切であるか

a b x

6 使用されている概念・用語は適切であるか

a b x

7 研究の方法・分析が適切で、結果は明確であるか

a b x

8 論理の展開には一貫性があるか

a b x

9 考察及び結論には新しい知見が含まれているか

a b x

10 表題は内容を適切に表現しているか

a b x

11 要旨の内容は適切であるか

a b x

12 省略語・単位・数値等は正確に表記されているか

a b x

13 文法は正確で文章は適切に表現されているか

a b x

14 図表の体裁 (タイトル・単位・形式)は整っているか

a b x

15 図表は本文の説明と適合しているか

a b x

16 研究倫理上の問題はないか

a b x

所見 (特記事項ある場合)：

審査結果 (いずれかを○で囲む)

合 否 保留

審査年月日： 年 月 日 審査員氏名：

文学研究科 修士論文予備審査基準

2012年度より下記の審査基準を用いて修士論文を予備審査する。(変更の可能性あり)

文学研究科修士論文予備審査基準

審査対象者：学籍番号 氏 名

論文題目：

項目別評価：

[評価基準 / a : 適切 b : 不適切 x : 非該当項目]

1 章立て等論文の体裁は整っており、執筆要領(注・文献も含めて)に適合しているか

a b x

2 先行研究を的確に踏まえているか

a b x

3 研究目的は明確であるか

a b x

4 専攻や専門の理念との関連付けは明確であるか

a b x

5 研究目的に照らして研究方法は適切であるか

a b x

6 使用されている概念・用語は適切であるか

a b x

7 研究の方法・分析が適切で、結果は明確であるか

a b x

8 論理の展開には一貫性があるか

a b x

9 考察及び結論には新しい知見が含まれているか

a b x

10 表題は内容を適切に表現しているか

a b x

11 要旨の内容は適切であるか

a b x

12 省略語・単位・数値等は正確に表記されているか

a b x

13 文法は正確で文章は適切に表現されているか

a b x

14 図表の体裁 (タイトル・単位・形式)は整っているか

a b x

15 図表は本文の説明と適合しているか

a b x

16 研究倫理上の問題はないか

a b x

所見 (特記事項ある場合)：

予備審査結果

- A 無修正で合の評価
- B 修正後、合の評価
- C 修正後再査読が必要
- D 否

予備審査年月日： 年 月 日 審査員氏名：

大学院博士後期課程

博士論文審査に関する日程

7月	博士論文の進捗状況のチェックと指導を指導教授より受ける				
	○予備審査				
	〔提出書類〕				
	・予備審査願				
	・「仮製本」学位論文 4部				
	・論文目録				
	・論文要旨<和文・英文>				
	・履歴書				
12月	○公開説明会の開催				
	○学位授与の申請				
	〔提出書類〕				
	・学位申請書				
	・論文目録<変更のある場合4部>				
	・論文要旨<和文・英文><変更のある場合4部>				
	・戸籍抄本				
	・審査手数料				
	・最終学歴証明書				
	○本審査				
1月	○最終試験				
・	〔提出書類〕				
2月	・「本製本」学位論文 3部				
	○研究科委員長会議 開催				
3月	○学位授与式				

文学研究科 博士論文審査基準

2007年度より下記の審査基準を用いて博士論文を審査する。(変更の可能性あり)

文学研究科博士論文審査基準

審査対象者：学籍番号 氏 名

論文題目：

項目別評価：

[評価基準 / a：適切 b：不適切 x：非該当項目]

1 章立て等論文の体裁は整っており、執筆要領(注・文献も含めて)に適合しているか	a	b	x
2 先行研究を的確に踏まえているか	a	b	x
3 研究目的は明確であるか	a	b	x
4 専攻や専門の理念との関連付けは明確であるか	a	b	x
5 研究目的に照らして研究方法は適切であるか	a	b	x
6 使用されている概念・用語は適切であるか	a	b	x
7 研究の方法・分析が適切で、結果は明確であるか	a	b	x
8 論理の展開には一貫性があるか	a	b	x
9 考察及び結論には新しい知見が含まれているか	a	b	x
10 表題は内容を適切に表現しているか	a	b	x
11 要旨の内容は適切であるか	a	b	x
12 省略語・単位・数値等は正確に表記されているか	a	b	x
13 文法は正確で文章は適切に表現されているか	a	b	x
14 図表の体裁 (タイトル・単位・形式)は整っているか	a	b	x
15 図表は本文の説明と適合しているか	a	b	x
16 研究倫理上の問題はないか	a	b	x

所見 (特記事項ある場合)：

審査結果 (いずれかを○で囲む)

合 否 保留

審査年月日： 年 月 日 審査員氏名：

文学研究科 博士論文予備審査基準

2007 年度より下記の審査基準を用いて博士論文を予備審査する。(変更の可能性あり)

文学研究科博士論文予備審査基準

審査対象者：学籍番号 氏 名

論文題目：

項目別評価：

[評価基準 / a : 適切 b : 不適切 x : 非該当項目]

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1 章立て等論文の体裁は整っており、執筆要領(注・文献も含めて)に適合しているか | a | b | x |
| 2 先行研究を的確に踏まえているか | a | b | x |
| 3 研究目的は明確であるか | a | b | x |
| 4 専攻や専門の理念との関連付けは明確であるか | a | b | x |
| 5 研究目的に照らして研究方法は適切であるか | a | b | x |
| 6 使用されている概念・用語は適切であるか | a | b | x |
| 7 研究の方法・分析が適切で、結果は明確であるか | a | b | x |
| 8 論理の展開には一貫性があるか | a | b | x |
| 9 考察及び結論には新しい知見が含まれているか | a | b | x |
| 10 表題は内容を適切に表現しているか | a | b | x |
| 11 要旨の内容は適切であるか | a | b | x |
| 12 省略語・単位・数値等は正確に表記されているか | a | b | x |
| 13 文法は正確で文章は適切に表現されているか | a | b | x |
| 14 図表の体裁 (タイトル・単位・形式)は整っているか | a | b | x |
| 15 図表は本文の説明と適合しているか | a | b | x |
| 16 研究倫理上の問題はないか | a | b | x |

所見 (特記事項ある場合)：

予備審査結果

- A 無修正で合の評価
- B 修正後、合の評価
- C 修正後再査読が必要
- D 否

予備審査年月日： 年 月 日 審査員氏名：

博士予備論文の提出及び審査（博士論文を提出しないで退学する場合）

- ① 2年間所定の研究指導を受けた博士後期課程の在學生で、3年次に博士論文を提出しないで単位修得満期退学をしようとする者は、必ず博士予備論文を提出しなければならない。
- ② 博士予備論文を提出しようとする者は、2017年11月11日（土）までに、所定の様式による博士予備論文届（論文題目・内容の概要を記載し、主査の承認印を受けたもの）を提出すること。
- ③ 博士予備論文の提出期日は、2018年1月13日（土）までとする。
- ④ 上記②③にかかわらず、博士後期課程に3年以上在学し春学期末をもって退学を希望する者は、博士予備論文届を2017年6月10日（土）、博士予備論文を2017年7月21日（金）までに提出することができる。
- ⑤ 博士予備論文の体裁は、次の基準による。
 - ア 論文用紙等は、各専攻の定めるものとする。
 - イ 必ず製本し、3部提出すること。
 - ウ 表紙に提出年度・主査名・題目・研究科専攻・課程・年次・学籍番号・氏名を必ず明記すること。
 - エ 博士予備論文の枚数は、以下のとおりとする。

英語英米文学専攻 英文A4判25行100枚程度
（公表されている学術論文3編のうち1編は英文）をもって予備論文相当と扱う場合もある。）

社会学専攻 400字詰め原稿用紙（相当）で200枚以上
比較日本文化専攻 400字詰め原稿用紙（相当）で200枚以上
 - オ 博士予備論文の審査は、論文審査と口頭試問による。
 - カ 以上のほかは、各専攻の定めるところによる。

（9）博士予備論文審査に関する日程（予定）

2017年度提出日程	2017年 7月提出者	2018年 1月提出者
教育研究指導計画書の提出	4月8日（土）	
博士予備論文届の提出	6月10日（土）	11月11日（土）
予備論文の提出（製本3部）	7月21日（金）	1月13日（土）
口頭試問	※8月28日（月）	2月中旬
予備論文査定	※8月28日（月）	2月中旬

※：都合により日程変更の可能性があります。

《2年次生対象》 博士論文構想発表会	11月11日（土）
-----------------------	-----------